

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
理科	物理	4	一斉	理系	3

教科書（発行所）	「総合物理2」（数研出版）
教科書以外の教材	実践アクセス 総合物理（浜島書店）

目標		物理的な事物・現象についての考察や観察により、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育て、基本的な概念や原理・法則を理解し 科学的な自然観を育てる。			
	学期	学習時期	学習事項	学習内容	考查等
学 習 計 画	1 学 期	第4編 電気と磁気 第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波		磁場 電流のつくる磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力 電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流の発生 交流回路 電磁波	実力考查  中間考查
		第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核		電子 光の粒子性 X線 粒子の波動性 原子の構造とエネルギー準位 原子核 放射線とその性質 核反応とエネルギー 素粒子	期末考查
		物理総復習		共通テスト対策演習 二次対策演習	実力考查  中間考查  卒業考查
	2 学 期	物理総復習		共通テスト対策演習 二次対策演習	実力考查  中間考查  卒業考查
	3 学 期	物理総復習		共通テスト対策演習 二次対策演習	
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 定期考查を成績の評価の中心とするが、課題提出状況、出欠状況、授業態度なども重視する。</li> <li>2 提出物・宿題は期限をきちんと守る。</li> <li>3 公式を「暗記」するのではなく、公式の裏にある概念や主張を深解すること。</li> <li>4 授業ノートは使用せず、プリントに書き込む方式をとる。余白には、黒板に書かれないこともメモすること。</li> <li>5 物理現象は作図して、図の中で思考を進めること。</li> <li>6 予習は教科書を読み、プリントの（ ）埋めを行う。授業に集中し、復習をしっかりと行うこと。</li> </ol>			

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	物理の基本的な原理や法則を理解し 公式を憶え、問題解決に使う事ができる。 (1問1答の問題が解ける。) 実験器具の基本的な操作ができる。	物理的な原理や法則の思考方法や発想を理解する。	反復練習により物理の基本的な原理や法則を理解し公式を憶え、問題解決に使う事ができる努力を継続する。
	自然現象や物理的な問題から、適切な原理や法則を選択し適用することができる。 問題に知識・技能が適切に使える。 (総合的な問題が解ける。) 実験器具を適切に組み立てることができる、測定ができる。	自然現象を説明する時の思考方法や発想を使って問題を解決できる。	疑問点を見いだす態度で学習に臨み、解決をしていく取り組みができる。
	何故、自然現象や物理的な問題へ、その原理や法則が適切であるのかを理解し説明ができる。 (問題が問うていることを理解し説明できる。) 実験を精密に測定するための組み立ての知識や精密に測定する技能を身につける。	思考方法や発想、更に原理・法則・公式の裏にある理念や概念にまで気づく。	疑問点を、習得した知識・技能・思考力・判断力・悟った理念や概念を使って、他者を頼らずに解決していける。
評価の方法	授業時の課題確認テスト（小テスト）、課題レポート、週課題、授業に臨む姿勢・意欲・努力、定期考查などの評価、及び自己評価を総合的に評価します。 学習内容だけでなく、学習し身に付けるためのやり方、知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力を基礎とした問題解決能力を含め努力までまんべんなく評価します。		